

1 題材名 音楽のききどころ

2 目標

- 曲想とその変化，楽曲の構造に関心を持ち，意欲的に聴こうとする。
- 音楽を特徴付けている要素を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，楽曲全体の特徴に気付く。

3 題材について

本題材は，楽曲全体の雰囲気を感じ取ったり，曲の流れの変化や構造を聴き取ったりすることを主なねらいとしている。教材曲として取り扱う「ノルウェー舞曲 第2番」（グリーグ作曲）は，曲が短く，速度や強弱の変化などが感じ取りやすい。また，ABAの三部形式であることが明快で，オーボエなどの楽器の音色の聴き取りに適している，という「ききどころ」が考えられる。楽曲全体としては，初めに，穏やかで優雅な舞曲主題Aが演奏された後，中間部Bで突然速い激情的な主題が表れ，再びAの主題が演奏され，終わる。Bの主題の動機は，Aの主題部分から導き出されており，対比と統一が巧みに図られていることが特徴であり，面白さである。

本学級の児童は，年間を通した常時活動（リズム遊び）を通して，[共通事項]を学んできた。また「歌唱」，「器楽」，「音楽づくり」，「鑑賞」をバランスよく組み合わせた授業を通して，音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を育ててきた。鑑賞に関しては，「サウンドオブミュージック」で，様々な声の出し方や歌い方による違いを感じ取ったり，曲のイメージを想像したりしながら聴いてきた。

| | | | | |
|---|-------------------|---|--------|--------------|
| 1 | 音楽を聴くことは好きですか。 | 好き27人 | ふつう 5人 | あまり好きではない 1人 |
| 2 | 普段どんな音楽を聴きますか。 | ・Jポップ20人 ・アニメソング14人 ・ジブリの音楽9人 ・クラシック1人 など | | |
| 3 | 授業で聴いて気に入った曲の主な感想 | 「私のお気に入り」 ・自分の好きな物を思い出してハッピーになれる。・ロマンチックな感じ。 「ひとりぼっちの羊飼」 ・声の高低が面白くて楽しい。・はずむところが面白い。 「エーデルワイス」 ・ゆっくりしていて好き。・きれいな白い花が目につかぶ。・優しい感じ。 「ドレミの歌」 ・楽しくなる。・気持ちがいい。 「さくらさくら変奏曲」 ・日本の文化や町並みがうかぶ。・ゆっくりしていて長時間楽しめる。など | | |

(第4学年1組 33人 平成25年10月11日実施)

上記の調査から，日頃から親しんでいる人気歌手の歌やアニメの主題歌や挿入曲などを児童が好んでいることが分かったが，授業で鑑賞した教材曲にも気に入った曲が多いようである。感想には，抽象的な言葉が多いが，「声の高低が面白くて楽しい」，「はずむところが面白い」等の音楽を特徴付けている要素を感じ取っている児童も数名見られた。音楽活動の基礎的な能力を培うために，音楽を聴いて楽曲の特徴や構造を理解し，言葉で表したり，音楽表現に生かしたりしていけるような力をさらに身に付けさせたい。

こうした実態を踏まえて，鑑賞の指導に当たっては，曲名や作曲者の背景などから楽曲のイメージを想像するのではなく，音楽を特徴付けている要素（速度・強弱・拍の流れ等）や楽曲の構成（ABAの三部形式）を理解することで，楽曲全体の雰囲気を感じ取ることができるようになりたい。具体的には，音楽に合わせて体を動かす活動を取り入れることにより，楽曲の特徴を感じ取れるようにする。特に，ボールを用いて表現することで，高学年に近付いた児童の身体表現に対する羞恥心を取り除いたり，「遊び」の延長として友達と一緒に楽しく活動したりしながら学べるよう工夫したい。また，音楽を特徴付けている要素のみに注目するのではなく，長く世界の人々に愛されている教材曲を味わう時間を持ち，作曲者の背景についても触れることで，楽曲全体の理解も深められると考える。生活の中で，自然と耳にする音楽だけではなく，「鑑賞」した音楽の感想や分かったことを記入したワークシートを家庭に持ち帰り，保護者に伝える家庭学習から，家族と一緒に音楽を聴く楽しさを共有し，より一層音楽を愛好する心情を育てていきたい。

4 題材の評価規準

| ア 音楽への関心・意欲・態度 | エ 鑑賞の能力 |
|--|--|
| ①曲想とその変化，楽曲の構造に興味・関心を持ち，鑑賞の学習に進んで取り組もうとしている。 | ①音楽を特徴付けている要素（速度・強弱・拍の流れ等）や楽曲の構造（三部形式）を聴き取り，よさや面白さを感じ取りながら，楽曲全体の特徴に気付いている。 |

5 学習と評価の計画（3時間扱い）

| 次 | ねらい | 主な学習活動 | 〔共通事項〕 | 評価規準 |
|--------------------------|---|--|------------------------------|----------------------------------|
| 第1次 (2) 本時は 第2時 | 楽曲の雰囲気を感じ取り，音楽を形づくっている要素に気付く。 音楽に合わせた動きをしながら，楽曲の特徴を感じ取る。 | <ul style="list-style-type: none"> 体を動かしながら音楽を聴き，楽曲全体の強弱や速度，拍の流れによる音楽の変化を楽しむ。 グループで，音楽に合わせて体を動かしながら，楽曲の特徴をつかむ。 グループごとに動きを発表し，音楽の特徴について話し合う。 | 速度 強弱 反復 拍の流れ 変化 | アー① エー① エー① エー① |
| 第2次 (1) | グリーグ及びグリーグの出身国であるノルウェーについて知る。 | <ul style="list-style-type: none"> 作曲家や北欧文化などについて知る。 グリーグの他の作品や「ノルウェー舞曲 第2番」のピアノ演奏版を聴く。 | | アー① エー① |

6 本時の学習

(1) 目標

音楽に合わせて体を動かす活動を通して，楽曲の特徴（速度・強弱・拍の流れ等）を感じ取って聴く。

(2) 「伝え合う力」を育成するための配慮事項

自分の思いや意図（速度・強弱・拍の流れ等）を身体表現にした理由を相手に伝えるという言語活動を通して，伝え合う力を育てたい。

(3) 準備

ボール(1人1つずつ，計33個)，CDプレーヤー，ワークシート

(4) 展開

| 学習活動と内容 | 教師の指導と評価 |
|---|---|
| 1 既習曲「音楽のおくりもの」を歌う。 | <ul style="list-style-type: none"> リズム遊びをしながら身体をほぐし，無理のない自然な発声ができるようにする。 速度や強弱に変化を付けたり，拍をゆらしたりするリズム遊びを行うことで，本時の導入とする。 |
| 2 本時の学習のめあてを確認する。 音楽に合わせた動きをしながら，曲の特徴を感じ取って聴こう。 | |
| 3 音楽に合わせた動きを考える。 (1) 学級全体で「ノルウェー舞曲 第2番」を鑑賞する。 (2) グループで音楽に合わせて体を動かしながら，楽曲の特徴をつかむ。 ・速度の変化 | <ul style="list-style-type: none"> 常時掲示してある「音楽のもと」の中に音楽を特徴付けている要素があることに触れる。 自然と音楽に合わせた体の動きをしている児童を見付け，なぜそのような動きをしたかを問いかけ，身体表現と音楽の特徴の結び付きに気付けるようにする。 オーボエの音色に注目させる。 それぞれの動きが工夫しやすいように，グループごとにCDプレーヤーを用意し，生活科室と音楽室に分かれて活動させる。 |

- ・強弱の変化
- ・拍のゆらぎ
- ・ABAの三部形式

4 グループごとに動きを発表し、音楽の特徴について話し合う。

- ・円になってなめらかな腕の動きでボールを手渡す動き → ゆったり(遅い)
- ・止まりそうになる動き → 拍のゆらぎ
- ・円を崩し、急に激しく動く
→ 速度や強弱の変化
- ・速く激しい動き → 速い, 強い
- ・再び円に戻る, 緩～急～緩の動き
→ 三部形式

5 本時の学習を振り返り、次時の課題を確認する。

作曲家「グリーグ」について知ろう。

- ・体を動かすこと自体がねらいではなく、音楽の特徴を感じ取るための体験活動なので、ボールを用い、基本の動き（円になってボールを拍に合わせて手渡す）をもとに活動できるように支援する。
- ・身体表現が苦手な児童も、グループの中で楽しく活動できるように簡単な動きを例示する。
- ・動きの根拠を言葉でも伝えられるように支援する。
- ・音楽に合った動きをしているところを見付けるように助言し、気付いたことを発表させる。
- ・それぞれのグループの動きから、似ているところを探し、その理由を考えさせることで、楽曲全体の特徴を感じ取れるようにする。
- ㊦音楽に合わせて体を動かす活動を通して、楽曲の特徴（速度・強弱・拍の流れ等や三部形式）を感じ取って聴くことができたか。〔鑑賞の能力〕
- ・本時の学習から、分かったことを発表させ、そこから児童一人一人の気づきや活動のよさを、教師が言葉にして称賛する。